

シラバス(地歴科)【ホームページ・ガイダンス用】

科目名	地理発展	学年	3	使用教材	教科書	新詳地理B／新詳高等地図 最新版	帝国書院
		必修修の別 (必・選必・コース選)	選必			新詳地理資料COMPLETE 地理要点ノート 地理10分間テスト サクシード地理	帝国書院 啓隆社
学科	全学科	単位数	2		副教材	山川出版社 啓隆社	
系統科目	世界史A(1年必・2単位) 日本史B・地理B(2・3年選・2単位)、世界史発展・日本史発展・地理発展(3年選・2単位)						

【学習目標】

- 1 現代社会の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。
- 2 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
- 3 地理の基礎・基本を系統的且つ分野別に理解できる技能を習得させ、大学受験に対応できる能力を涵養する。

【学習方法のポイント】

- 1 「地理B」の応用編です。系統地理など既習範囲の復習をして臨みましょう。
- 2 地理は実社会と密接に関連しています。自分の視野を広げる為にも、様々な事柄に興味をもち、新聞やニュースなどに積極的に親しみましょう。
- 3 知らない地名は地図帳で確認しましょう。調べた個所をチェックする蛍光ペンはオレンジ色・ピンク色がおすすめです。

【学習評価と観点】

- 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとめりとともに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	地理的事象について関心をもっているか。また、課題意識をもち、意欲的に追求しているか。				
②思考・判断	地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察しているか。国際社会の変化に的確に対応し、公正に判断しうるか。				
③表現・処理	諸資料を吟味し、確実なものを選択し活用することを通して地理的事象を追求する方法を身につけているか。				
④知識・理解	日本を含む世界の生活と文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、知識を身につけているか。				

評価方法／観点	①	②	③	④	備 考
学習状況観察	◎	—	—	—	自己評価の実施
ノート・ワークシート	◎	○	○	○	訂正ノートを含む
課題レポート等	○	◎	○	—	長期休業中の課題を含む
単元テスト等	—	○	◎	◎	設末テスト、章末テストを実施
定期考査	—	○	◎	◎	中間・期末(1, 2学期)

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

- 学習の記録簿を活用することで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲(目安)】※追加・変更することもある。

			教科書(単元)	備 考
学期	1学期	中間	第Ⅰ部さまざまな地図と地理的技能～第Ⅱ部1章2節世界の気候	
		期末	第Ⅱ部1章3節日本の自然と人々の生活～第Ⅱ部2章6節第三次産業	
	2学期	中間	第Ⅱ部2章7節世界を結ぶ交通と経済圏～第Ⅲ部2章2節東アジア	
		期末	Ⅲ部2章3節東南アジア～第Ⅲ部3章現代社会と日本	
	3学期	学年末		

【学習サポート】

- 随時、学習相談を実施しています。学習方法に関することや授業でわからなかったところなどは放っておかず、必ず質問に来て下さい。